

名 称	令和8年度 第1回 目黒区障害者自立支援協議会 本会議
日 時	令和8年7月31日（金）午後6時～午後8時
会 場	総合庁舎本館4階 政策会議室
会議次第	1 開会 2 新任委員の紹介 3 議題 （1）次期障害者計画等の策定に向けた取組について （2）目黒区障害者計画の令和7年度実績について （3）都有地を活用した障害者グループホーム等の整備について （4）地域課題の検討状況について （5）その他報告事項等 4 区からの情報提供 5 その他 【今後の日程】 第2回本会議 令和8年12月2日（水）午後6時～午後8時 第3回本会議 令和9年 3月2日（火）午後6時～午後8時 6 閉会
出席委員	委員：岩崎委員（会長）、北本委員（副会長）、白鳥委員、松原委員、徳永委員、林委員、島添委員、菊地委員、池部委員、江見委員、田中委員、野村委員、渥美委員、岸井委員、深町委員、岡村委員、長谷委員、田島委員、谷津委員、土屋委員
欠席者	重盛委員、比護委員
配布資料	資料1－1：次期障害計画等の策定に向けた取組について 資料1－2：目黒区障害者計画策定に関する意見 資料1－3：計画に係る答申書 資料2－1：表紙・説明（令和7年度） 資料2－2：目黒区障害者計画課題別事業 令和7年度実績評価総括表 資料2－3：課題別事業評価票 資料3：都有地を活用した障害者グループホーム等の整備について 資料4：各専門部会・連絡会の活動報告書 資料5－1：令和7年度目黒区地域生活支援拠点の事業実績及び評価について 資料5－2：令和7年度目黒区基幹相談支援センターの事業実績及び評価について 資料5－3：目黒区発達障害支援拠点ぽると 令和7年度事業実績及び令和8年度事業計画 資料5－4：精神障害者退院相談支援事業 令和7年度実績 資料5－5：精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた取組 令和7年度実績
会議内容	1 開会 会長による開会挨拶。 事務局から配布資料の確認と運営上の注意について説明を行った。 東京都からの依頼により、相談支援従事者現任研修の研修生2名が見学。 2 新任委員の紹介 新任の委員、区職員について紹介を行った。

3 議題

(1) 次期障害者計画等の策定に向けた取組について

障害施策推進課長

次期障害者計画等の策定に向けた取組について資料1-1、資料1-2、資料1-3に沿って説明を行った。

令和8年度は、現行の障害者計画の最終年度に当たることから、令和9年度からの次期障害者計画等の策定に向けて検討を行う年度となる。

これまでの次期計画の策定に向けた動きとしては、令和7年度に委員の皆さまからいただいた次期計画に関する意見（資料1-2）を、令和8年3月2日に目黒区地域福祉審議会に対して提出し、その意見を参考に計画の方向性等についてとりまとめた答申（資料1-3）を同年7月に同審議会から得た。

今後の取組については、資料1-1に記載のスケジュールに沿って進めていく。

また、これまでの障害者計画は3年間の計画としていたが、障害福祉施策については中・長期的に取り組むべき施策が多いため、令和9年度からの次期計画から計画期間を6年間に延長し、3年ごとに中間の見直しを行うことを予定している。

なお、サービスの見込量を定める障害福祉計画及び障害児福祉計画についてはこれまで通り計画期間を3年とする予定である。

作成した計画素案については、パブリックコメントを実施する予定であり、計画素案の概要について分かりやすくまとめた5分程度の動画と合わせてウェブサイト上に掲載し、幅広い意見をもらいたい。

委員

パブリックコメント実施時に公開される動画について、手話通訳等の情報保障は行われるのか。

障害施策推進課長

公開する動画にはワイプで手話通訳を行うのである。

(2) 目黒区障害者計画の令和7年度実績について

障害施策推進課長

目黒区障害者計画の令和7年度実績について資料2-1、資料2-2、資料2-3に沿って説明を行った。

副会長

評価対象事業の目標の内容によっては、単年度で目標を達成することが困難な場合があると思われる。今後は単年度ではなく複数年度の背景事情を踏まえたうえで評価・報告する仕組みを検討してほしい。

障害施策推進課長

次年度以降の評価報告の際に意見を参考にする。

(3) 都有地を活用した障害者グループホーム等の整備について

障害施策推進課長

都有地を活用した障害者グループホーム等の整備について資料3に沿って説明を行った。

委員

グループホームの定員と対象となる障害種別については決まっているか。

障害施策推進課長

計画地の用途地域や建築制限を踏まえると、10名以上の定員となることを想定しているが、具体的な人数は事業者の提案を受けて決定する。

対象となる主な障害種別については、目黒区障害者計画策定に関する調査の結果等を踏まえて検討していく。

(4) 地域課題の検討状況について

会長

地域課題の検討状況について、各専門部会から説明をお願いする。

委員（相談支援部会）

令和7年度は、令和6年度に目黒区障害者自立支援協議会本会議に提起した地域課題を継続して検討する「継続課題班」と、地域課題抽出のための事例検討等を行う「事例検討会班」に分かれて活動を行った。

令和8年度からこれらの班に分かれた活動は終了し、相談支援部会全体で3回的事例検討を実施する予定。これまでの事例検討と今年度の取組の中で見えてきた課題を地域課題として抽出し、解決に向けた具体的な検討を行うことができるよう、事例検討を継続して行っている。

委員（子ども部会）

令和8年度は「養育者支援」「連携」「伴走型支援」「居場所」の4つのテーマについて事例検討を行う予定である。4月から6月に「養育者支援」について事例検討を行った。7月には「養育者支援」のまとめを行った。次回は9月開催となるが、9月以降は「連携」について事例検討を行う予定。

事例検討で出てきた課題を、「事業所課題」「目黒区の課題」「社会課題」の3つに分類し、地域課題として抽出するために事例検討を重ねている。

委員

抽出した課題について、専門部会の中だけで解決することは難しい部分があると思う。本会議等で共有することで施策に反映できる議論につながるのではないかと。抽出した課題をどの様に課題検討会議や本会議に繋げていく方針か伺いたい。

相談支援部会

課題検討会議や本会議に提起する地域課題をより明確・具体化するため、事例検討を複数回実施しながら、それぞれに共通する課題を抽出するとともに、地域課題として整理するための根拠となるデータ等の収集・蓄積を図っている段階である。

子ども部会

相談支援部会と同様に、抽出した課題を提起するために、事例検討を重ね、視点や切り口を整理している段階である。

委員

過去に相談支援部会から提起された「ガイドヘルパー不足」などの課題について、その課題解決に向けてどのように取り組んできたのか分からない状況である。

課題検討会議や本会議に提起するための検討ではなく、地域課題の解決に向けて取り組むべきであり、その検討・実行に当たっては相談支援部会単独で解決は難しいこともあると感じるため、連絡会としても協力したいと考えている。

相談支援部会

地域課題の解決に向けて他の専門部会や連絡会とどのように連携できるかを検討する。

また、相談支援部会で進めている取組として、相談支援の魅力を伝える動画を作成する予定であるため、その作成に当たって子ども部会や各連絡会にはご協力をいただく場合がある。

(5) その他報告事項

会長

令和7年度の活動報告について各専門部会、連絡会から報告をお願いします。

委員（相談支援部会、子ども部会、高齢化・グループホーム対策連絡会、一般就労連絡会、施設就労連絡会、意思疎通支援連絡会、防災連絡会）

それぞれ資料4に沿って報告を行った。

会長

令和7年度の区の事業実績について報告をお願いします。

障害施策推進課長

目黒区地域生活支援拠点と目黒区基幹相談支援センターの事業実績については担当の委員から報告をお願いします。

委員（地域生活支援拠点）

資料5-1に沿って報告を行った。

項目2の「緊急時の受入れ・対応」については、重要な役割であるものの、受入れ体制が十分でないという課題があるため、検討を継続していく。

委員（基幹相談支援センター）

資料5-2に沿って報告を行った。

項目1の「運営形態」については、現在も管理者を含め3名体制での運営が続いており、人員体制が整っていないことについては、引き続き対応が必要であると考えている。

委員

基幹相談支援センターの運営体制の評価について伺いたい。

運営体制については人員不足を理由にC評価になったとのことであるが、人員が充足されればA評価になるということか。

障害施策推進課長

運営体制の評価については、人員が確保され、委託業務が遂行されたことでA評価になると考えている。

会長

他自治体でも、地域生活支援拠点と基幹相談支援センターが地域福祉の中心となって機能していくことが期待されているため、引き続き地域福祉の中心となるように努めてもらいたい。

障害施策推進課長

目黒区発達障害支援拠点と及び精神障害者退院相談支援事業の事業実績については、障害者支援課から報告をお願いします。

障害者支援課長

資料５－３、資料５－４に沿って報告を行った。

資料５－４の項番２「精神障害者地域移行・地域定着推進連絡会」については、役割や所掌事項が一部重複している「目黒区保健医療福祉推進協議会」との位置づけの整理と役割分担を明確化し、より効果的な支援体制の構築について検討していく必要があるため、現時点では開催には至っていない。

今後、精神障害者地域移行・地域定着推進連絡会の再開に向けて、個別ケースの支援方針の検討や新規ケースの把握、事業周知、関係機関との連携強化の方法について整理し、関係部署等と調整を進めていく。

障害施策推進課長

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた取組について保健予防課から報告をお願いする。

保健予防課長

資料５－５に沿って説明を行った。

なお、資料５－５の項番２構築推進事業「（２）措置入院者退院後支援事業」に記載されている【措置入院等実績】の表について、令和５年度の退院後支援件数が１２件となっているが、９件の誤りであるため訂正する。

会長

その他、報告事項はあるか。

委員

区の障害者雇用の取組について周知したい。

障害のある職員の活躍の場である「オフィス・サポートセンター」が区役所内に開設され、区内の就労支援機関から数名が採用されている。令和８年度中の一般就労連絡会でも、区の障害者雇用の状況について情報提供の機会を設ける予定である。

会長

目黒区障害者差別解消支援地域協議会でも「オフィス・サポートセンター」のについて情報提供があった。区の障害者雇用が着実に進んでいると感じる。

その他、意見や感想等あるか。

委員

防災連絡会に関して伺いたい。

スマイルプラザで毎年開催している「スマプラフェスタ」では、水消火器とＡＥＤの使用体験を行っており、目黒消防署とも連携を行っている。

これまで防災連絡会に参加していなかったが、一緒に検討していくために連携したい。

４ 区からの情報提供

区からの情報提供はなし。

５ その他

会長

事務局から今後の予定について説明をお願いする。

事務局

第2回及び第3回の本会議の日程については、次第に記載の通り、第2回は令和8年12月2日（水）、第3回は令和9年3月2日（火）、いずれも午後6時～午後8時を予定している。詳細については、決まり次第連絡する。

なお、課題検討会議の開催については、現時点で未確定だが、各部会より提出された地域課題について、関係機関を招き検討を進めていく予定である。

副会長

福祉人材の不足については目黒区地域福祉審議会においても、分野横断的な介護・福祉人材の確保・定着・育成について検討が行われた。資料1－3の答申書にもその点について触れられている。

地域課題等においても、障害福祉分野だけで考えるのではなく、広く地域で解決するという視点を持つことで、新しい解決策や分野を横断した連携の在り方が見えてくる可能性もある。

今回の答申を基に、地域全体で課題を解決していくことを検討していただきたい。

7 閉会